



理事長年頭挨拶

 愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎


新年あけましておめでとうございます。旧年中は本会の運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も相変わらずよろしくお願いいたします。

昨年是一年当初からの新型コロナウイルス蔓延で世界中が恐怖のどん底に落とされ、日常であったもののほとんどが非日常となり、不自由な生活を強いられ、今もなお出口の見えない長いトンネルの中に追いやられています。そのような状況下であり、誠に残念なことでありますが本会においても3月半ばから7月ごろまでは本会主催大会や会議の開催はすべて中止となり協会としての本来の活動が停止しておりました。しかしながら、7月中頃からは一部連盟の大会や本会の会議も動き始め、今ではウィズコロナで万全の感染予防対策を施し種々の事業を実施することが出来るようになり、曲がりなりにも通常の愛知県バドミントン協会に戻ったように思われます。

そこで、新年早々のお願いでございます。ウィズコロナで進められている本会の活動は皆様方からの個人会員登録によって支えられておりますが、現在のところ活動に叶う個人登録者数に至っておりません。つきましては個人会員未登録の方はどうか一日も早いご登録をよろしくお願いいたします。

第137回中日楯争奪令和2年度秋季愛知県新人バドミントン大会

コロナ禍で多くの大会が中止となった中、久々に県協会主催で一般の選手が参加できる大会が10月17日(土)、18日(日)に一宮市総合体育館ディアドラアリーナで開催された。

ジュニア世代、特に大会が少ない中学生の参加が目立ったが、男子は社会人や個人での参加も多く、成人男子特有の力強いプレーも印象的であった。例年であれば、春季新人戦など他の大会結果を受けてこの大会を卒業していたはずの選手たちも出場したことから、見ごたえのある試合が多く展開された。

男子シングルス 鍛えたフットワークで優勝！ 池村直飛(名経大市邨高校)

決勝には名経大市邨高校の池村、飯田が進んだ。普段ダブルスを組んでいるペア同士の対決だ。お互いに手の内を知り尽くしていることから長いラリーも多かったが、準決勝でファイナルゲームを戦った飯田に疲労の色が次第に見え始め、徐々に池村の強打がコースに決まるようになった。主導権をつかんだ池村がそのままストレートで優勝を勝ち取った。「脚をしっかり動かし、攻撃につなげられたのが勝因」と語った。



池村選手

女子シングルス 初出場で栄冠ゲット！ 岸田なつみ(豊田合成) ●●●●●●●●



岸田選手

序盤の小学生と高校生、中学生と社会人などの対戦でも競った試合が多く、世代間の力の拮抗を感じさせた女子単の決勝は、岐阜県の高校を昨春卒業した社会人1年目の岸田と中学2年生松久保(NOCK)の対戦となった。松久保はスピードのある岸田のショットに少しずつ慣れ、食らいついていくが、やはり社会人の力強さと経験をいかんなく発揮した岸田が、危なげなくストレートで勝利を取めた。試合後に「しっかりと自分のプレーをすることが出来た。勝利を積み重ねて、次のステージでも結果を残していけるよう頑張りたい」と抱負を語った。(広報 大村悠介)

男子ダブルス 目標達成の喜び実感！ 小椋悠司・河崎屋光司(FEATHER FLOCK) ●●●

準決勝でファイナルゲームの激戦を勝ち抜いてきたペア同士の決勝となったが、1ゲーム目から小椋・河崎屋がゲームの流れをつかみとり、終始押し続けていた。2ゲーム目では競る場面もあったが、勢いそのままに優勝を勝ち取った。「これまで何度も大会に出てきたが、今回こそ日々の練習の成果を発揮したいという強い気持ちで臨んだ。怪我なく1日でも長くバドミントンを続けたい」と述べた。



(左)小椋選手(右)河崎屋選手

女子ダブルス 先輩としての意地…負けるもんか！ 熊谷磨菜・加藤美羽(名経大市邨高校) ●●●



(左)熊谷選手(右)加藤選手

同じ学校の高校生VS中学生となった決勝は、熊谷・加藤の圧勝になるかと思っただが、中学生が根性を見せ、特に2ゲーム目では強気に攻める姿勢を貫いて、高校生のミスを誘い、ゲームポイントまで追い込む場面もあった。しかし、そこから高校生が底力を発揮して逆転、優勝をもぎ取った。「自分たちのプレーができず、ミスも多かった。色々なタイプの選手と対戦できて、学ぶことが多い大会だった」と述べた。

(広報 石井久伸)



お知らせ

「S/Jリーグ2020スペシャルマッチin愛知」を1月30、31日に開催！

2020年度のS/Jリーグがコロナ禍により全て中止となったことを受けて、本会は県内のS/Jリーグに参加している東海興業(男女)、ジェイテクト(男子)、豊田通商(男女)に、県外から日立情報通信システム(男子)、ヨネックス(女子)、三菱電機(女子)を招き、男女共各4チームの総当たり対抗戦を刈谷市制施行70周年記念大会としてウイングアリーナ刈谷にて開催することにしました。試合の様子をJ SPORTSとキャッチネットワークが共同放送する予定です。組合せや放送日程等詳細は公式サイトでご確認下さい。



公式サイト
QRコード

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダーズ グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はいーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767



明日へ駆ける



令和2年度愛知県高等学校新人体育大会 バドミントン競技

10月末から11月上旬にかけて、新人体育大会の愛知県大会を実施した。高体連としては今年度唯一の全国へと繋がる大会となる。

学校対抗戦は男女とも決勝は名経市邨と岡崎城西の対戦となった。結果は対照的で男子は市邨が、女子は城西がそれぞれ3-0で圧倒した。試合後、市邨男子主将の阿保は全国出場への喜びと全国ベスト4という目標を語り、岡崎城西女子主将の久湊は「インターハイがなくなったので、先輩たちの思いを背負って戦った中で目標を達成できてうれしい」と話してくれた。

個人戦も団体の結果がそのまま反映された。男子は単複共に3位まで市邨が独占、女子の単は2位まで、複は3位までを城西が独占する結果となった。どちらも準決勝あたりから、同校内のライバル同士で全国選抜への切符を賭ける対戦がほとんどで、手の内を知り合うだけに、熱く長いラリーが多く展開された。団体・単・複の3冠となった市邨上田とペアの阿保は東海を通過点として全国ベスト4に入るという目標、同じく3冠の久湊は全国でも3冠をとるために練習を重ねるといふ強い意を示し、単複で準優勝の梅田も全国優勝を誓った。
(広報委員 大村悠介)

大会 結果

	男子団体	男子複	男子単	女子団体	女子複	女子単
優勝	名経市邨	阿保・上田(市邨)	上田(市邨)	岡崎城西	久湊・石田(城西)	久湊(城西)
準優勝	岡崎城西	大羽・青山(市邨)	冨田(市邨)	名経市邨	梅田・秋間(城西)	梅田(城西)
第3位	愛工大名電	永森・近藤(市邨)	阿保(市邨)	星城	佐久間・岡本(城西)	河辺(市邨)



男子団体優勝 名古屋経済大学市邨



男子個人(左 上田 右 阿保)



女子団体優勝 岡崎城西



女子個人(左 梅田 右 久湊)

第26回愛知県小学生バドミントン大会団体戦

11月14日(土)常滑市体育館において開催した同大会では、新型コロナウイルス感染症の第3波が押し寄せるなか、1人も感染者を出さないよう、検温・消毒・手洗いを徹底的に心がけて、試合を進めることが出来ました。例年、男子上位6位・女子上位8位までに入賞すると東海大会に出場できる権利を得られる大会でしたが、やはりここにもコロナの影響があり、今年は男子・女子とも4位までに入賞した団体が東海大会に出場。また、毎年、東海大会予選の1部と県大会のみの2部の2種目の団体戦を行っていましたが、今大会は1部のみと人数の制限を行っての試合運びとなりました。男子の決勝戦ははりーあっぷジュニアVS西尾ジュニア。前年度と同じ戦いとなりましたが、はりーあっぷが優勝を決めました。女子の決勝戦ははりーあっぷジュニアVS長久手ジュニア。昨年は3位で東海大会に出場したはりーあっぷジュニアが優勝をつかみ取り、アベック優勝となりました。上位4位までに入賞した団体は令和3年1月31日(日)愛知県西尾市で行われます「第24回東海小学生バドミントン大会団体戦」に出場。ここでも優勝を目指して頑張ってください。(広報委員 鈴木由紀江)

大会 結果

	男子団体	女子団体
優勝	はりーあっぷジュニア	はりーあっぷジュニア
準優勝	西尾ジュニア	長久手ジュニア
3位	大里東ジュニア	大里東ジュニア
4位	岡崎ジュニアB.C	T-Jump Jr.



男子団体優勝 はりーあっぷジュニア

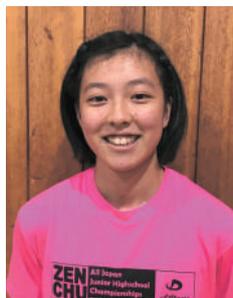


女子団体優勝 はりーあっぷジュニア

★愛知のホープ★

むか い はる な

向井温菜(名古屋経済大学市邨中学校2年)



高い打点から打つ角度のあるショットと、粘り強くシャトルを追い続けるプレーが特徴的な選手です。その持ち味を活かし、2019年度夏の県総体で、1年生ながらシングルス3位に入賞すると、その秋の愛知県新人バドミントン大会のシングルスで優勝を勝ち取りました。その後、愛知県の代表選手に選出されましたが、コロナウイルスの影響により、出場予定だった全日中は中止となってしまいました。さらに活躍が期待されていた愛知県全中も中止となったため、現在は地道に練習を重ねる日々を過ごしています。

体力や筋力のアップを今の課題とし、主にトレーニングに力を入れています。コート内で素早く動くための瞬発力や、長いラリーに対応できるスタミナを鍛え、プレーの底上げを図ろうと努力を続けています。

今後の目標は、来年度の全中に出場、高校進学後すぐにインターハイに出場することです。

そして将来、奥原希望選手のように、多くの人から憧れを抱かれる選手になりたいと話しています。目標にたどり着くよう努力を続け、素晴らしい選手になってくれることを期待しています。

(名古屋経済大学市邨中学・高等学校バドミントン部顧問 石井久伸)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

愛知製鋼バドミントン部

を紹介します。

男子30人が、愛知製鋼株式会社の部活動のひとつとして、愛知製鋼企業年金基金体育館(通称：アスカム)で、活動しています。



練習は火曜日、木曜日の18時から。会社業務が最優先なので、主力部員の練習参加が難しいことも多く、なかなか人数が集まらないのもあって、アスカムクラブ女子や、地域貢献も兼ねて会社近郊のバドミントン愛好家にも参加してもらっています。練習の中心は、一番熱心な新入社員たち。新入社員は会社の技術学園で1年間の机上教育&現場実習&各種資格取得のカリキュラムで勉強に励み、17時には終わるので、必ず練習に参加できるからです。

チーム目標は、①愛知県実業団1部リーグ定着 ②全日本実業団ベスト16以上 ③チャレンジリーグ1部昇格を掲げていますが、個々のレベル差もあり、実力別に3チーム編成してそれぞれに頑張っています。チームの課題としては、練習量の減少で入社時のバドミントンスキルを高めることが難しいこと。各自の自覚と他強豪チームの練習方法などを取り入れて成長していきたいと考えています。

練習仲間を募っています。名鉄聚楽園駅から徒歩5分のアスカムに、是非お越しください。

(愛知製鋼バドミントン部 監督 橋村義春)

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

 **YONEX**®

連盟NEWS

小学生バドミントン連盟

10月17日(土)に「第35回若葉カップ全国小学生バドミントン大会愛知県優勝記念大会」をメディアス体育館おおぶで開催しました。今年度は全国大会が中止、県予選もなくなったため、記念大会として行いました。当日は春に叙勲を受けられた山田理事長にお越しいただき、令和元年若葉カップ全国大会で優勝したはりーあっぶジュニア男子団体の表彰式を行いました。小学生代表からの花束贈呈後、選手に向けてお話をさせていただきました。試合は男子9組、女子16組が出場。全国大会



花束贈呈

はなくとも優勝を目指してチーム一丸となって頑張る姿は素晴らしいものがありました。

(小学生連盟 鈴木由紀江)

社会人クラブ連盟

◆個人戦を開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年10月に実施していた個人戦を、第3波の感染状況を注視しつつ、今年度は後期リーグ戦(開催中止)で確保していた会場を利用し、12月5日より約1か月間開催します。様々な感染防止対策を模索しながらの大会運営となり、選手・スタッフの協力のもと、バドミントンができる喜びを関わった皆さんで共有できるのではないかと考えています。また、今大会は令和3年6月18~20日に愛知県豊田市にて開催される第14回全国社会人クラブ大会(個人戦)の選手選考を兼ねて、種目の見直しも併せて行いました。試合結果については、愛知県協会の公式サイトをご参照ください。(社会人クラブ連盟 渡邊伸也)

西三河のバドミントン専門店

モリタスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

実業団バドミントン連盟

◆交流リーグ戦大会を実施

コロナ禍の中、今年度の後期リーグ戦の代替大会として、令和2年11月29日、12月5、12日に名古屋市北スポーツセンター他にて開催された。全国大会、県内大会が軒並み中止となり、各チームおよび選手のモチベーションアップの一助となることを目的に、感染症対策を万全に準備、実施した。

所属会社(企業)の方針で大会参加を見送ったチームもあったが、男子29チーム、女子4チームが参加し、交流大会ではあったが、久しぶりの競技バドミントンを楽しむ大会となった。S/Jリーグに所属しているJTEKT、東海興業の2チーム(男子)をはじめ参加チームを順位付けしてグループ編成、通常のリーグ戦試合方式の2複3単を2複1単に短縮して実施した。試合中は感染症対策で選手の意識的な声出し自粛にもかかわらず、気合が高まり大声を出して注意を受ける選手もいたが、多くは試合に集中し心地良い汗を流し熱戦を繰り広げた。来年度は6月に全日本実業団大会が愛知県(名古屋市)で開催される予定だ。何とか新型コロナウイルス感染症が収まり、無事開催できることを願っている。

(愛知県実業団連盟 理事長 井上龍)

高等学校体育連盟バドミントン部

◆高体連の活動状況

コロナ禍で高校総体こそ予選から中止となったが、高体連では少しでも普段の練習の成果を発揮する場を作るべく、感染症対策を徹底しながら、比較的早い時期から大会を実施してきた。8月には総体の代替大会を県、地区それぞれのレベルで実施した。9月、10月には新人戦をほぼ例年通りの内容(単、複、団体)で実施した。幸いこれまで一人の感染者も出すことなく無事にやり遂げることができた。生徒・教員一人一人の協力の賜物である。今後の予定としては、1月に例年実施されてきた県全体での学年別大会の代わりとしての冬季大会を、県の上位レベルの大会と地区毎の大会に分けて実施することを計画している。第3波の広がり懸念される昨今ではあるが、前向きに進んでいきたい。

(高体連 大村悠介)

市町村だより

一宮バドミントン協会

◆一宮市民秋季バドミントン大会

11月8日一宮市総合体育館にて開催され、参加者数291ペア。今大会は新型コロナウイルス感染症防止のため、15点2ゲームという変則で試合を行いました。試合後の感想を一部ピックアップしてみました。



新型コロナウイルス対策 ビニールシート

「初めて組むペアでしたが、いい結果が残せてとても嬉しいです。次は対戦相手で会いましょう！」(井上・角田)

「コロナ禍という中で大会を開いていただき、また結果を残せてうれしいです。」「来年は一部に出て、またいい結果を残せるように練習します。」(岩田・平松)

「決勝戦でプッシュを3回も決めたことが嬉しかった。ドキドキしたけど楽しく試合することが出来ました！」(小川・小川)

「今までの練習の成果が出せて嬉しかったです。」

「白熱してメッチャ嬉しい！」(宮田・加藤)

「先輩に組んでもらって感謝いっぱい。楽しかったです。」(金森・玉田)

種目	優勝	種目	優勝	種目	優勝
男子複1部	井上 聖悟 角田 英之	女子複1部	葛西 深雪 高木 圭子	女子複シニア	松永 周子 野田 美雪
男子複2部	岩田 佳明 平松 大輝	女子複2部	大野 順子 長谷川美恵	混合複1部	竹岡 房樹 棚橋 美友
男子複3部A	竹中 達輝 山口 真澄	女子複3部A	高野 愛海 島田 琴音	混合複2部	金森 優太 玉田 朱乃
男子複3部B	中里 碧斗 大山 雄飛	女子複3部B	大庭帆乃香 小立 采音	混合複3部	長谷川圭吾 田瀬 史佳
男子複初心者	門脇 杜馬 稲葉 隼士	女子複初心者A	小川万里子 小川 菜月	混合複初心者	遊佐 君弘 中島 香織
男子複シニア	神谷 浩 高橋 泰幸	女子複初心者B	宮田 真希 加藤 愛菜	混合複シニア	東 太郎 東 エミ

知多市体育協会バドミントン連盟

◆第33回知多市ジュニアバドミントン大会

令和2年11月1日(日)メディアス体育館ちたにおいて知多市教育委員会と共催。結果は以下のとおり。

大会種目	優勝	2位
6年生以下複	黒原洋彦・小田凜太郎(知多J)	堀内茜里・平松加蓮(知多J)
5年生以下複	斎藤直紀・山下蓮桜(知多J)	中野聖菜・野見山千紘(八幡BD)
4年生以下複	勝崎慶・早川稜真(旭北J)	市来咲良・富田真央(八幡BD)
6年以下男子単	小田凜太郎(知多J)	黒原洋彦(知多J)
6年以下女子単	平松加蓮(知多J)	堀内茜里(知多J)
5年以下男子単	小田凜太郎(知多J)	斎藤直紀(知多J)
5年以下女子単	中山心陽(知多J)	山本愛菜(旭北J)
4年以下男子単	米山奮人(岡田)	山下蓮桜(知多J)
4年以下女子単	濱野光沙(新知)	原あかり(旭北J)

審判連載

棄権について



水野 慶介

審判を行う中で、棄権に遭遇することがありますし、試合出場した選手が、止む無く棄権することもあります。その際、同一大会の他の種目にエントリーしている場合への影響をしっかりと把握する事がとても重要です。

競技規則の大会運営規程には「棄権後、同一種目及び同大会の他種目全てに出場できない。ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除く」とあります。ただ、「本人または本人以外を有利にする目的ではなく、正当な理由での棄権行為であると競技役員長が判断した場合、他のエントリー種目へ出場を認めることもある」とあります。選手としては、そのような判断を求める事ができることを知っておく必要があります。

編集後記

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の終息も未だ見えず、今年も万全の予防対策をしながらのウィズコロナの年になりそうです。

日本バドミントン協会のHPに記載されている感染症対策ガイドラインや各種資料を参考にし、一つでも多くの大会が安全に開催・運営されるよう、皆さん、よろしくご協力下さい。

広報委員 鈴木勝男

連絡 投稿

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領1-9-9

広報委員長 岩田 崇

TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス

<http://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス info@badminton-aichi.com

勝つための本物

GOSEN[®]
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741